

高度な予測・分析が誰にでもできる

Prediction One

予測AIサービス

AIを用いてデータの予測・分析を行うサービスです。データサイエンス・機械学習・プログラミングなどの経験がなくても直感的に使えるため、幅広いビジネス現場で活用できます。



特長 ①

シンプルで簡単

表形式のデータを取り込み
数クリックするだけで分析・予測



特長 ②

多彩で高精度な予測・分析

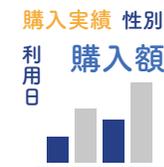
さまざまな予測モデルから
最も精度の高いモデルを自動選択



特長 ③

根拠が可視化され説明可能

どの要素が分析・予測を左右するかが
可視化されます



経験と勘だけで判断してませんか？

生産数量

人員の配置

必要な在庫量

注力顧客

アフターケア対象

設備の予防保守

など

社内にたまったデータを活用すればよりよい意思決定が可能です

データに基づく
分析・予測

コスト削減/売上向上

最適な商品数量や人員配置を予測し
販売機会損失や在庫コスト発生を防げる

リスクの予測と回避

機器の故障や既存顧客の解約といった
リスクを予測し、あらかじめ対処できる

属人化の解消

経験の少ない若手でも見込み顧客や
注力商品の見極めができるようになる

	契約	業種	結果
A 社	あり	製造業	失注
B 社	なし	小売業	受注
C 社	あり	建設業	受注

AIが予測モデルを自動生成



精度が低い場合
学習データを修正

AIに学習させるデータを用意し
Prediction Oneに取り込む

- 目的変数** 予測したい項目の実績
- 説明変数** 目的変数の根拠となりうる項目

生成された予測モデルの精度と
予測の理由を確認する

自動的に可視化される予測精度や
説明変数ごとの影響度を参考に
業務に利用可能かどうかを判断

	契約	業種	結果
D 社	なし	通信業	?
E 社	あり	金融業	?
F 社	なし	公共	?

予測モデルを用い
分析・予測



	契約	業種	結果
D 社	なし	通信業	失注
E 社	あり	金融業	受注
F 社	なし	公共	受注

分析・予測したいデータを用意し
Prediction Oneに取り込む

学習時に用いたデータと同様の説明
変数を含み、目的変数が空欄のデー
タを用意

分析・予測結果が出力される
→ さまざまな業務に利活用

経験と勘に頼っていた業務を誰もが
データに基づいて高精度に行えるよ
うになる

活用事例

お客様のデータを用いた PoC※も可能。AI の力を体感してください

※PoC (Proof of Concept : 概念実証)
サービスや製品に用いられるアイデア・技術が実現可能かを確認するための実験や検証作業

活用例
01

見込み顧客の予測



サービスの購入促進のためにDMを送付し
ているが、費用対効果が低いため、購入確
率の高い顧客にターゲットを絞りたい。

- 目的変数** 購入有無
- 説明変数** 入会時期、年齢、性別、
過去購入額 など

活用例
02

適正価格の予測



不動産価格の値付けが担当者ごとにまちま
ちになっている。見積の自動化で値付けを
適正化し、売り上げを最大化したい。

- 目的変数** 価格
- 説明変数** 所在地、駅からの距離、
面積、階数 など

活用例
03

故障情報の予測

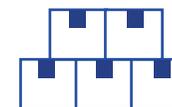


納品した機器に対し、故障の可能性が高い
機器から優先的に点検や予防交換を行うこ
とで、かかる工数を最小に抑えたい。

- 目的変数** 故障/正常
- 説明変数** 機種、稼働期間、油圧、
温度、湿度 など

活用例
04

仕入れ数量の予測



現場の経験と勘をもとに販売数量を予測し
ているが、しばしば商品の過不足が起きて
いるため、仕入れ量を適正化したい。

- 目的変数** 仕入れ数
- 説明変数** 曜日、祝祭日、気温、
天気、イベント など

